

岐阜市の80代女性死亡

県内研修医ら3人感染

県と岐阜市は22日、新たに岐阜市や各務原市、羽島郡笠松町の男女3人の新型コロナウイルス感染症を確認したと発表した。うち笠松町の20代男性は同町の松波総合病院の研修医で20日に発症、19、21日に診療に当

たっていた。また22日、感染し入院していた岐阜市の80代女性が死亡した。県内の感染者の死亡は6人目。県内の感染者は147人と

なった。

県によると、研修医は救急外来の診療を担当。20日

に喉の痛み、全身の倦怠感などの症状が出た。21日に発熱やせきも表れ、22日に陽性と判明した。複数の患者と接触したが、勤務中はマスクを着用していたため、県は感染リスクの高い患者はいないとみている

岐阜市	72 (+1)	④
可児市	14	②
各務原市	13 (+1)	
大垣市	12	
瑞穂市	5	
多治見市、池田町	各4	
関市、恵那市、土岐市	各3	
羽島市、本巣市、神戸町	各2	
笠松町	2 (+1)	
美濃市、山県市、大野町、坂祝町、川辺町、御嵩町	各1	
計	147 (+3)	⑥

※退院者や死亡者を含む。()内は前日からの増加。丸数字は死者数。

岐阜市クラスター(シャルム)	47	
岐阜市クラスター(潜龍)	14 (+2)	①
岐阜市クラスター(職場等)	11 (+1)	
可児市クラスター	18(終息)	②

退院	37 (+8)	※県外在住者を含む。
----	---------	------------

県内感染者の状況(22日現在)

が、診療を受けた患者の確認を急ぐ。病院は、濃厚接触を続ける。通常通りの診療の可能性がある8人の研修医を自宅待機とし、院内別の疾患で入院していた岐

阜市内の医療機関を退院後に発症し、9日から別の医療機関に入院、10日に陽性と判明。7、8日には市内の福祉施設も利用した。接触があった医療従事者や患者ら64人の陰性を確認している。

県と市のクラスター(感染者集団)対策合同本部によると、同市と羽島市の2つの会社を巡るクラスターでは、9日に感染が確認された70代男性の母親である各務原市の90代女性の感染を確認した。クラスター規模は計11人となった。

性が、従業員の家族だったことが分かった。クラスター規模は計14人となった。他に、岐阜市の50代女性の陽性が判明した。一方、各務原市の20代女性など男女8人らが新たに退院した。県内の退院者は37人となった。